

長野県災福ネットBCPセミナー 開催要領

～能登半島地震の経験からBCPの見直しを考える～

1 目的

令和6年能登半島地震では、多くの福祉・介護事業所がBCPの想定をこえた被害を受け、事業の継続や再開に大きな困難を抱える状況がありました。

交通の寸断、断水の長期化、1.5次避難所などへの広域避難を余儀なくされるなど想定外の状況が相次ぐ中で、施設・事業所はどのように利用者と職員を守ったのか。また、広域避難からの帰還希望者をどのように受け入れ、事業再開を模索したのか、実際の経験を基に学びます。

本セミナーでは、能登の福祉・介護事業所の経験に学びながら、法人同士の助けあいや多様な外部支援活用の視点も含めて、BCPの見直しと防災に強い地域づくりについて学びます。

2 日時等 令和6年10月18日（金） 13:00～16:00 オンライン開催（Zoom）

3 主催 長野県災福ネット / 社会福祉法人長野県社会福祉協議会 / 長野県社会福祉法人経営者協議会

4 参加対象 災福ネット関係者、DWA Tチーム員、福祉・介護事業所関係者、福祉専門職団体関係者、行政・社協・地域包括支援センター関係者、災害保健医療関係者等

5 参加費 無 料

6 内 容

13:00	◆開 会
13:10	<p>【第1部】ケアマネ座談会「在宅サービスの視点から能登半島地震をふりかえる」</p> <p>○能登町内の居宅介護支援事業所のケアマネジャーから、発災後の利用者の安否確認、その後の避難生活・在宅支援、そして仮設住宅等の現在の状況を聞きます。</p> <p><スピーカー> こすもす居宅支援事業所、藤波デイサービスセンター</p> <p><進行> 能登町健康福祉課 課長補佐 千場かおり 氏</p> <p>（協力：下諏訪町ケアマネジメント研究会）</p>
14:30	<p>【第2部】シンポジウム</p> <p>「能登半島地震の経験からBCPの見直しを考える」</p> <p><シンポジスト>（能登町内の福祉・介護事業所）</p> <p>[在宅・社協] 能登町社会福祉協議会 事務局次長 浜田孝昭 氏</p> <p>[グループホーム] ケアホームいるか乃里 管理者 上野正香 氏</p> <p>[入所・特養] 特別養護老人ホームこすもす 副施設長 水上直彦 氏</p> <p><コーディネーター></p> <p>佛科大学 福祉教育開発センター 講師 後藤至功 氏</p>
15:45	<p>◆ 報 告「外部支援による臨時福祉避難所に関する研究会」</p> <p>○長野県災福ネットと長野大学は、長野県DWA Tによる能登町における臨時福祉避難所の開設の効果や課題を分析・整理する共同研究を行っています。災害時の要介護者等へのケアや支援のあり方、福祉・介護事業所の実効性のあるBCPの策定等のための提案を行うことを目的とした当研究会の議論の過程を伝えます。</p> <p><進捗報告></p> <p>長野大学 総合福祉学研究科 特任教授/防災科学技術研究所審議役 田口康 氏</p>
16:00	◆ 閉 会

7 申し込み グーグルフォームにて 10月11日（金） までにお申込みください。

<https://forms.gle/P7wiviowYRERNEw7>



8 問合せ先 〒380-0928 長野市中御所岡田 98-1

長野県災福ネット事務局（長野県社会福祉協議会内）

TEL:026-226-1882/FAX:026-227-0137/ E-mail:vceneter@nsyakyo.or.jp